



# 防災だより 2021年11月号

第 34 号  
令和3年11月30日発行 関ヶ谷自治会 防災部/防災ボランティアグループ  
☆防火チーム☆情報・通信・電気チーム☆食料・物資チーム☆医療・介護チーム ☆防災資機材取扱チーム 自治会館 ☎784-4447

## “避難行動は何点でしたか??” ~首都圏で震度5強の地震発生！その時あなたの避難行動は~

千葉県北西部を震源とした地震が発生したことは、記憶に焼き付いていることでしょう。首都圏では足立区と千葉県川口市宮代町で震度5強、金沢区では震度4でした。東日本大震災の惨事が思わず頭をよぎったほどの強い揺れでした。

わが家では、そろそろテレビのスイッチを OFF にしようとしてリモコンを持ったところで、地震警報と携帯のアラートがケタタマシク鳴り響き、慌ててタンスを手で押さえ揺れの収まるのを待ち、次にトランシーバーのスイッチを入れて関係者に連絡しました。

その時の避難行動を振り返ってみると、「避難路」の確保ができていなかったことが大きな反省とし挙げられます。

皆さまのご家庭で、1~3の基本行動がとれたか。どれだけ備えがあるか確認してみてください。

### 【発災時の行動は?】

1. 火を消し、ガスの元栓を閉める
2. 火災の原因となる家電製品の電源を消し、コンセントをぬく
3. 通電火災や漏電による火災を防ぐため、ブレーカーを切る。

### 【災害への備えは?】

- ①家具の転倒防止対策が済んでいる
- ②非常持ち出し袋が用意されている
- ③避難所までの避難経路を決めている
- ④家庭内の避難経路を決めている
- ⑤緊急時の連絡方法を決めている
- ⑥家で避難できない場合の避難先の優先順位を決めている
- ⑦最低3日できれば7~10日以上の避難生活ができる備蓄をしている



## ■また“帰宅困難者”が多く出た

~帰宅困難にも備えをしっかりとっておこう~

10月7日夜間に発生した地震は、東京と埼玉で震度5強の強い揺れを観測した地震によって多くの帰宅困難者が出ました。

駅周辺の混雑、一時滞在施設の開放の遅れ、さらに翌日も続いた交通機関の混乱により、ターミナル駅の周辺を中心に多くの人が行き場を失い、タクシー乗り場に長蛇の列ができていたのをニュースでなんども放送されていました。

帰宅困難者への対応は政府の発表(8日午前の記者会見)によると、「各自治体が一時滞在施設を6カ所、東京3カ所、神奈川2カ所、千葉1カ所開設し、約120名の方を収容したとのことだ」とアナウンスしていました。

また、新幹線については目的地までたどり着けない乗客や、在来線での乗り継ぎができない乗客が発生したため、「東京駅において約350名に対して、列車ホテルの対応を実施した」と伝えています。

都市部での地震で課題の1つが帰宅困難者の対応です。首都直下地震の想定では最悪800万人とも想定されています。私たちも仕事や買い物等で外出している時に、地震にあうとたちまち帰宅困難者になってしまいます。

その時に、やはり頼りになるのが「備え」です。外出時にも「非常持ち出しキット」を用意し、自分を守ることが必要です。この先30年の間に震度7以上の直下型地震の発生確率が高いとされていますので、なおさらのこと準備が必要です。

例えば、

- ・大判のハンカチを常に持ち歩く
- ・ウェットティッシュを常に持ち歩く
- ・携帯ラジオを持ち歩いたり、ラジオアプリをスマホにダウンロードしておく
- ・携帯バッテリー、充電ケーブルを常に持ち歩く

そして地震にあったら、

- ・まずは自分自身の安全を確保する
- ・次に会社や家族との安否確認をし、その場や近場に留まれるなら留まる
- ・徒歩帰宅をする場合、コンビニやファミレスの位置、通れない道を確認し、休憩しながら徒歩帰宅する
- ・日頃から徒歩帰宅する時の道順を考えておくと同時に、避難者受け入れ施設を調べておく
- ・コンビニやファミレス、ガソリンスタンド等には災害時に帰宅支援を協力の協定を自治体と結んでいるところも多数あるのでチェックしておく。

最近写真右のように外出用の防災グッズがセットになって販売されています。



セット内容】①スライダーケース  
②ズームキーライト(LED)③携帯トイレ1P(大小兼用)④ウェットティッシュ 10枚(3年保存)⑤ポケットティッシュ ※飲み水も必要



## 皆さんご存知でしょうか？

防災 VG 第1区リーダー 齊藤明徳

10年前の東日本大震災以来、去る10月7日午後10時41分に久しぶりに横浜でも震度5弱の地震が発生しました。やはり、大地震の備えは大事です。では、震度5強以上の大地震が起こった時、関ヶ谷自治会等の備えはどうなっているのか、以下の項目を皆さん幾つご存知でしょうか？

その前に、大地震(関東大震災＝震度7～8)が発生した時の状況を想定しましょう。

①関ヶ谷全域では発災直後に停電、断水、ガス停止、復旧には1週間以上要する②関ヶ谷地域内家屋の約3割が全壊ないし半壊して、自宅避難は困難③広域震災のため、発災直後には消防自動車、救急車の救援は見込めない



- 震度5強以上の大地震が発生した時には、夏山町内会と山の手・関ヶ谷自治会住民のために、西金沢学園(西金沢学園地域防災拠点)に避難所が開設されます。避難所は、防災拠点運営委員が校舎等外観及び校庭と校舎内の安全を確認後、はじめて使用可能になります。
- 避難場所(教室・体育館)は防災拠点運営委員が主体的に設営しますが、準備に1～3時間(被害状況による)はかかります。
- 関ヶ谷住民が避難所に入れる最大人数は200名程度です。なお、感染症の流行時期には、定員の半分程度の収容です。定員以上の住民は原則在宅等の避難です。在宅避難が出来ない場合、あらかじめ他の避難場所を決めておいてください。避難所は最後の選択肢とし、在宅やマイカー避難、あるいは親せきや隣近所への避難を優先してください。
- 避難所に入る人は避難者カード(A)を記入提出します。あらかじめ記入し非常時持ち出し袋などに入れておいてください。避難所は土足厳禁ですので、上履きを必ず持参して下さい。原則スリッパでは不可です。避難所で色々作業をしてもらう為です。なお、感染症予防に必要なマスク、体温計、手指消毒液、石鹸、ウエットティッシュなどは必ず持参ください。
- 避難者から選ばれた「避難者グループメンバー」は「防災拠点運営委員会メンバー」の方々と一緒に避難所運営の当事者となります。避難者はお客さんではありません。避難所内で色々な作業を分担して戴きます。例えば、避難者への非常食配布や炊き出し作業などです。
- 避難所は集団共同生活の場です。集団生活のルールを守り少しの我慢をしい、お互いさまの精神でなるべく気軽に楽しい生活がおくれるように配慮してください。
- 関ヶ谷住民の避難場所は西金沢学園の3階の4教室と4階の6教室に23名ずつ入居できます。5年2組は関ヶ谷災害対策本部分室となります。断水や配管損傷の場合などは、校舎内の水洗トイレは使えません。非常トイレか屋外のプール前に設置の仮設トイレを使うこととなります。
- 怪我をした人には、西金沢学園の2階の2教室(治療室)で手当を受けられますが、一度に受入れ可能な人数は男性12名、女性12名です。ほかに乳幼児家庭・妊婦さん用に2階に2教室(24名)があります
- 関ヶ谷自治会災害対策本部が自治会館に、西金沢学園に災害対策本部分室が5年2組の教室(3階)に開設されます。関ヶ谷自治会住民の被災状況(家屋の被害状況と支援物資要望等)は決まった書式で班長・地区長が纏め対策本部に届けられ、そこで集約の情報が避難所に届きます。
- 避難所での飲料水は当面備蓄庫の水缶詰です。その他、西金沢学園分校の「緊急給水栓」から補給出来ますが、ホース等の設置は水道局職員などがあたります。水運搬は避難者の協力が必要です。在宅避難者にも給水可能です。但し、希望通りの給水が出来ない場合もあります。
- 区役所などからの公的支援物資は全て避難所に届けられます。その後、避難所から関ヶ谷自治会対策本部に配送され、その後在宅避難者に配布される流れになっています。
- 救出活動は対策本部が行いますが、不足する時は避難者の中から救出活動協力者を募り救助隊を編成します。救出活動開始は被害状況により開始時間は不明です。発災直後の被災家屋に閉じ込められた方の救出は(二次災害の危険がない場合に限り)近隣の方々で行います。
- 西金沢学園の避難所では避難生活が難しい介護等が必要な要支援者は、西金沢地域ケアプラザ(福祉避難所)に入所出来ますが(最大50名程度)、入所可否の判断は区部長(区長)が行います。
- 避難所には一度に30キロの米を炊ける灯油式炊飯釜がありますが、お米の備蓄はありません。しかも、避難所には運営委員も含めて、最大約700人おりますので、炊き出し作業には避難者の支援をもって行うこととなります。
- 避難所は原則1週間程度の開設です。ですが、被害状況によっては、延長される場合があります。閉鎖後は自宅庭や親せき、隣近所、場合によっては公園などでのテント生活になるか、車中泊になるのか、自衛隊等による仮設住宅棟が設営出来るか、その時によります。
- 避難所には風呂の設備はありません。そのうち自衛隊が仮設風呂を設営するかもしれません。
- 在宅避難者等は飲料水・食料や生活物資等の配給を希望すれば、配給対象となります。避難所に入れない(入らない)住民は近隣住民と協力して在宅等で避難生活となります。避難所からの支援が出来ないことも想定して、食事等は自分達で準備してください。簡易トイレも同様です。
- 避難所には家屋火災の消火体制はありません。発災時、ボヤの段階で御近所の協力で消火器による初期消火だけです。消防自動車の即応は期待できません。(広域に何力所も火災が発生すると思われるからです)火災にはくれぐれも注意してください。
- 避難所で発生するごみは西金沢学園北門(奥座公園口)がごみ集積場所になります。在宅避難者のごみはご自身で保管管理し、その後行政の指示にしたがってください。
- 在宅避難者の支援の在り方は、まだこれからの自治会の重要な検討事項で、「関ヶ谷自治会災害対策本部運営マニュアル(仮称)」と「住民の行動指針(仮称)」の作成が必要です。
- 西金沢学園地域防災拠点(避難所)や関ヶ谷自治会災害対策本部による住民への共助だけを期待しないで下さい。自助努力として、各自の災害時備蓄(会員名簿 P14掲載)品の備えをお願いします。また、災害で一番困る「電気」と「トイレ」も続く頁に掲載されています。

民生委員の日常..

## ひょっとしてお一人暮らしになられた!?

民生委員 第三地区担当 平島 君代

先日、班の公園清掃がありました。中止の期間が長くご近所と久々にお会いした方もいました。「お久しぶり」「元気でしたか」の挨拶から始まり、清掃とおしゃべりで気持ちいい時間を過ごすことができました。参加できないと伝言された方の身体の具合を労ったり、お一人暮らしの方の様子をお聞きすることもできました。ご近所で暮らしているからこそ何かあった時は気づくことができます。

民生委員は毎年お一人暮らしの方を把握して、年に数回定期的に訪問しています。ところが、相棒が入院、入所されて急にお一人で暮らさざるを得なくなった方が増えているのではないのでしょうか。そうした情報がないと、サポートができません。ご近所の方の変化に気づかれた場合は、遠慮なく民生委員にご一報ください。関係機関と連携してお役に立てることがあるかと思います。

